

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-80176

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>F 16 K 31/68  
F 01 P 7/16

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)8月16日

Q 8713-3H  
E 6848-3G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 温度感知式自動弁

⑯ 実 願 平1-141202

⑰ 出 願 平1(1989)12月6日

⑱ 考 案 者 甲 斐 一 到 東京都清瀬市中里6丁目59番地2 日本サーモスタット株式会社内

⑲ 考 案 者 浜 野 正 久 東京都清瀬市中里6丁目59番地2 日本サーモスタット株式会社内

⑳ 出 願 人 日本サーモスタット株式会社 東京都清瀬市中里6丁目59番地2

㉑ 代 理 人 弁理士 磯野 道造 外2名

## ㉒ 実用新案登録請求の範囲

流体の温度変化により作動する作動体と、該作動体に設けた弁体と、該弁体を閉鎖位置に付勢する付勢体と、前記作動体をガイドするガイド部を設けたフレームとを備え、前記作動体の作動により弁体を閉鎖位置に操作して通路を開閉する温度感知式自動弁において、

前記フレームのガイド部に前記作動体とポイント接触する軟質性の突起部を対向状に複数個設けたことを特徴とする温度感知式自動弁。

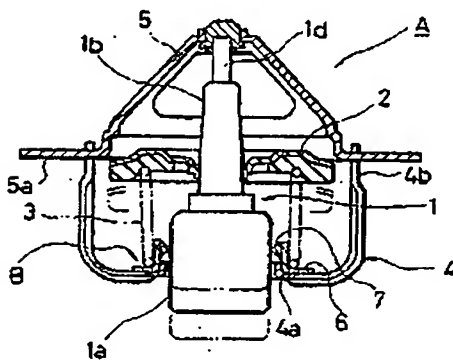
## 図面の簡単な説明

図面の第1図から第5図は本考案の実施例に係り、第1図は温度感知式自動弁の第1実施例を示す正面断面図、第2図は第1図の底面図、第3図は突起部材を示す斜視図、第4図は第2実施例の要部を示す正面断面図、第5図は第3実施例の要部を示す正面断面図である。また、第6図は従来例を示す正面断面図、第7図は第6図の底面図である。

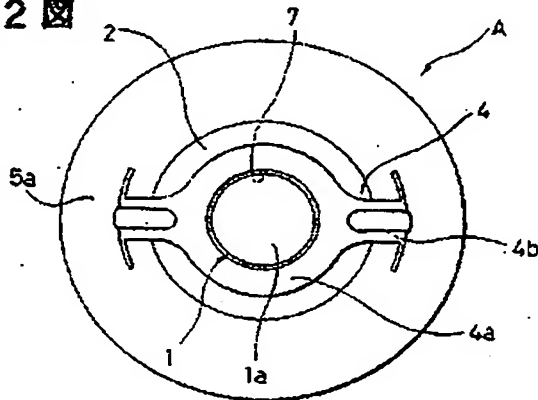
第1図は温度感知式自動弁の第1実施例を示す正面断面図、第2図は第1図の底面図、第3図は突起部材を示す斜視図、第4図は第2実施例の要部を示す正面断面図、第5図は第3実施例の要部を示す正面断面図である。また、第6図は従来例を示す正面断面図、第7図は第6図の底面図である。

A……温度感知式自動弁、B、C……突起部材、1……作動体、1a……温度感知部、1b……ピストンガイド部、1d……ピストンロッド、2……弁体、3……付勢体、4……フレーム、4a……ガイド部、4b……アーム部、5……軸受体、5a……取付部、6、8……プレート部、7、9、10……突起部。

第1図

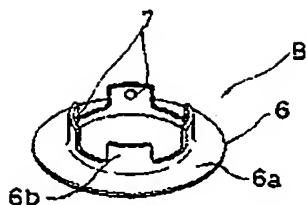


第2図

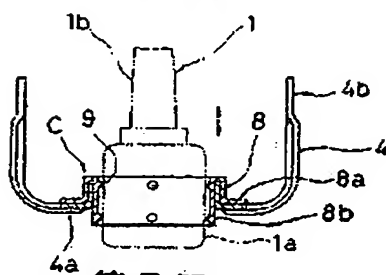


実開 平 3-80176 (2)

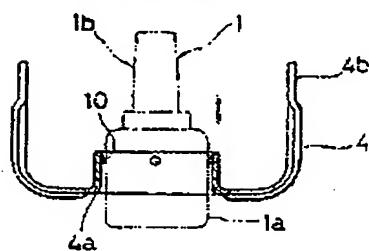
第 3 図



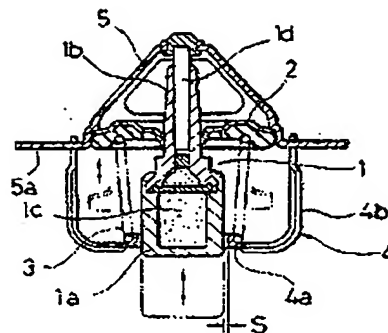
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図

